

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [木津川市立木津南中学校] 担当教諭名 [宮原 麻美] (美術部 20名)
 相手国・地域 [インドネシア]
 海外学校名 [SMP Negeri 6 Surabaya] 担当教諭名 [Eka Fadish Wati]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単 元 名	時間数
		部活動	アートマイルプロジェクトで世界とつながろう

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	「私たちは、森に生きる動物たちと、共存できる未来を目指します。」 “We aim for the future where we can live with animals in forests”
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	両校でSDG'sの「Life on land 陸の豊かさを守ろう」というテーマを選び、「協力して地球環境破壊を防ぎ、絶滅危惧種の動植物を守ろう」という想いを込めて描きました。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
2年生全員が関西セミナーに参加し、相互交流の方法や大切さを学んだ。今年度はSDGsのテーマを中心に制作を進めるため、講師を招いてSDGsのカードゲームを体験し、理解を深めた。相手側が日本語で動画を送ってくれ、こちらもインドネシア語を習って動画を送り交流できた。調べ学習で環境問題を学び意識を高められた。制作作業では、休日にも登校して、協力して壁画を仕上げる事ができた。	相手校の先生と途中で連絡が取れなくなり、フォーラムでの壁画に関する確認事項も滞ってしまったので、作品の制作が遅れた。JAM事務局からも相手校にプッシュしてもらった。こちら相手校の動画メッセージに対してすぐに返事を送れなかった事もあり、気をつけなければならないと思う。もっとフォーラムで制作途中の様子など交流出来たらよかった。新型コロナウイルスの休校で鑑賞が充分できず残念だった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
SDGsを学ぶことで、地球規模での持続可能な社会を作るために、自分たちの意識や行動が大切であることに気づく事ができた。インドネシアと共同制作するための調べ学習や、相手から送られてきた動画やカード、完成した壁画を見て、インドネシアに対する印象もかなり変わったと思う。	教師としても、SDGsという言葉は知っていても、その内容はあまりよく知らなかったが、カードゲームを通して理解も深まったし、生徒の感想を読むと、生徒たちなりに感じるどころがたくさんあることも新鮮だった。アートマイルの鑑賞や活動の振り返りで、個々の感想を共有し、深める取り組みを今後やっていきたいと思う。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月 ～ 9月	自己紹介カードを描いた。 相手校から学校の紹介ビデオや日本語の自己紹介ビデオが届き、日本側もインドネシア語の自己紹介動画を送った。	相手校からの動画、特に日本語のメッセージはとても印象的だったようだ。日本側もインドネシア語を教えてください方を探して、インドネシア語でのメッセージの練習を頑張った。	クラブ 活動
共有 テーマ学習	7月 ～ 10月	夏休み中にSDGsのカードゲームの研修を行い、理解を深めることができた。ネットや図書館で調べ学習を行った。特に環境問題や絶滅危惧種について調べた。	SDGsについて知っている生徒はほとんどいなかったが、カードゲームで意識が高まったようだ。昨年度の相手国デンマークの気候変動運動やインドネシアの環境問題に興味を持っていた。	クラブ 活動
融合 メッセージ作成	11月	今までの学びをもとにブレインストーミングを行って、テーマや何を描くかを決めていった。壁画の構成の原案を作り、相手校に提案した。	休日に登校してのミーティングだったが、各自がしっかり考えて意見を交流できた。壁画の原案も、アイデアを出し合って一つにまとめることができた。	クラブ 活動
創造 壁画制作	11月 12月	下校時間が短縮された関係で時間的に厳しかったが、休日登校で制作を進めることができた。それぞれ描く部分を分担して、協力しながら完成させることができた。	制作作業は、楽しいが根気のいる作業でもある。休日登校して、粘り強く取り組んでいた。日本側が完成した時は、全員で喜んでいました。	クラブ 活動
評価 振り返り 自己評価	3月	壁画が届いた頃、新型コロナウイルスの臨時休校が決まり、短時間壁画を見て、写真を撮ることはできたが、鑑賞やメッセージカードを見る時間がほとんど取れず、残念だった。	完成した壁画や日本語のメッセージカードを見て、すごい！と驚いていた。 自分たちの思いが相手校にも伝わったことがわかり、感激したようだ。感想文等を書かせる時間が取れず残念。	※

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	日本の絶滅危惧種の動植物について、調べプレゼンテーションにまとめることができた。
異文化を理解する力	4	相手国から送られたビデオや、調べ学習の内容のプレゼン等を、興味を持って見る事ができた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	学校図書館の本や、インターネットで資料を集め、プレゼンすることができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	インドネシア語の自己紹介を練習して覚え、録画して送った。インドネシア語でニューイヤーカードを書いた。相手からの日本語のメッセージにも感動していた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	いろいろな視点で事象を捉えたり、批判的に思考させるための時間が充分取れなかった。全員の意見をプリントして共通理解はできた。
主体的に考え行動する力	3	2年生がリーダーシップを取り、制作活動を進めることができた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	部活内では、パートごとに担当を決めて協力して制作を進めることができた。
思いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	メッセージや表現したいことを、壁画に込めて表現することができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	※	※新型コロナウイルスの臨時休校により、鑑賞や自己評価の時間をとれなかった。